

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン入門A	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン入門B	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠA	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠB	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅠC	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡA	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡB	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎ⅡC	○			○		○		○	○	◎	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン応用Ⅰ	◎			○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(行政)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(経済)	○		◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(政治)	○		◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(スポーツ)	○		◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(歴史・文化)	○		◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(自然)	○		◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(健康)	○		◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(地域づくり)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(地域安全)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(コミュニティ)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUインターンシップⅠ(事前指導)	○			○		○		○	◎	○	○	○	
全学共通科目	共通科目	KGUインターンシップⅡ(実習)	○			○		○		○	◎	○	○	○	
共通科目	教養科目	哲学	◎			○	○	○	○	○		○	○	○	
共通科目	教養科目	倫理学	◎			○	○	○	○	○		○	○	○	
共通科目	教養科目	心理学(人と社会)	◎			○	○	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	心理学(認知と情動)	◎			○	○	○	○	○		○	○	○	
共通科目	教養科目	世界史(課題と方法)	◎			○	○	○		○		○	○	○	
共通科目	教養科目	世界史(テーマ研究)	◎			○	○	○	○		○		○	○	
共通科目	教養科目	日本史(課題と方法)	◎			○		○		○		○	○	○	
共通科目	教養科目	日本史(テーマ研究)	◎		○			○		○		○	○	○	
共通科目	教養科目	美術史(課題と方法)	◎			○	○	○		○		○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解		技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度					
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	教養科目	美術史(テーマ研究)	◎			○	○	○				○		○	○
共通科目	教養科目	キリスト教学A	◎			○	○	○	○			○	○	○	◎
共通科目	教養科目	キリスト教学B	◎			○	○	○	○			○	○	○	◎
共通科目	教養科目	キリスト教学C	◎			○	○	○	○			○	○	○	◎
共通科目	教養科目	キリスト教史(バプテスト史)A	◎			○	○	○	○			○		○	◎
共通科目	教養科目	キリスト教史(バプテスト史)B	◎			○	○	○	○			○		○	◎
共通科目	教養科目	生命倫理	◎			○	○	○	○			○		○	○
共通科目	教養科目	日本文学(近代文学史)	◎			○		○	○			○		○	○
共通科目	教養科目	日本文学(現代文学史)	◎			○		○	○			○		○	○
共通科目	教養科目	外国文学(英米文学)	◎			○	○	○				○		○	○
共通科目	教養科目	外国文学	◎			○	○	○				○	○	○	○
共通科目	教養科目	文化人類学(民族誌)	◎		○	○	○	○		○		○	○	○	○
共通科目	教養科目	文化人類学(比較と理論)	◎		○	○	○	○				○	○	○	○
共通科目	教養科目	文章理解と自己表現A	○			○				◎		○	○	○	○
共通科目	教養科目	文章理解と自己表現B	○			○				◎		○	○	○	○
共通科目	教養科目	比較宗教学	◎			○	○	○	○	○		○	○	○	○
共通科目	教養科目	地域文化論(欧米)	◎		○	○	○	○				○		○	○
共通科目	教養科目	地域文化論(アジア)	◎		○	○	○	○				○		○	○
共通科目	教養科目	社会言語学	◎			○	○	○		○		○	○	○	○
共通科目	教養科目	社会学入門(現代社会の諸問題)	◎			○	○	○	○			○	○	○	○
共通科目	教養科目	社会学入門(理論)	◎			○	○	○	○			○	○	○	○
共通科目	教養科目	ジェンダー論	◎			○	○	○	○			○	○	○	○
共通科目	教養科目	社会思想史(人間本性編)	◎			○	○	○	○			○	○	○	○
共通科目	教養科目	社会思想史(市民社会編)	◎			○	○	○	○			○	○	○	○
共通科目	教養科目	政治学入門	◎			○			○			○	○	○	○
共通科目	教養科目	経済学入門	◎			○				○		○	○	○	○
共通科目	教養科目	簿記原理	◎			○						○			○
共通科目	教養科目	会計学	◎			○						○			○
共通科目	教養科目	日本事情(文化・歴史)	◎			○		○				○		○	○
共通科目	教養科目	日本事情(社会)	◎			○		○				○		○	○

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	教養科目	数的処理1	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	数的処理2	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)A	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)B	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)C	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)D	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(応用)	◎			○				◎	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	情報科学	◎			○				◎	○		○	○	
共通科目	教養科目	生命科学(基礎・普遍性)	◎			○			○		○		○	○	
共通科目	教養科目	生命科学(生物の多様性)	◎			○			○		○		○	○	
共通科目	教養科目	環境科学(概論)	◎		○	○			○		○	○	○	○	
共通科目	教養科目	環境科学(課題と評価)	◎		○	○			○		○	○	○	○	
共通科目	教養科目	実用英語	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養ドイツ語1	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養ドイツ語2	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養ドイツ語3	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養フランス語1	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養フランス語2	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養フランス語3	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養中国語1	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養中国語2	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	教養中国語3	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	ハンゲル1	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	ハンゲル2	◎			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(英語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(中国語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(ハンゲル)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(フランス語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(ドイツ語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(川島 健治)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限で学んだ学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(串田 美保子)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(鈴木みゆき)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(鈴木 恵)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(高瀬 幹雄)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(土浪 博)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(鳥澤 円)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(松谷 秀祐)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(宮本 弘典)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(武藤 達夫)	◎			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	法学部キャリア形成(基礎2)	○			○				○	◎	○	○		
共通科目	教養科目	ボランティア活動1	○			○				○	○	○	◎		
共通科目	教養科目	ボランティア活動2	○			○				○	○	○	◎		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1A	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1B	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1C	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1D	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1E	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1F	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1G	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1H	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1J	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1K	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1L	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2A	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2B	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2C	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2D	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2E	○			○	◎	○		○	○	○	○		

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限で在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2F	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2G	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2H	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2J	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2K	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2L	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1A	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1B	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1C	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1D	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1E	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1F	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1G	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1H	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1J	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1K	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1L	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2A	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2B	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2C	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2D	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2E	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2F	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2G	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2H	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2J	○			○	◎	○		○	○	○	○		

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	外国語科目	英語リーディング2K	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2L	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1A	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1B	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1C	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1D	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1E	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1F	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1G	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1H	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1J	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1K	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1L	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1X(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1Y(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2A	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2B	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2C	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2D	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2E	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2F	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2G	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2H	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2J	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2K	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2L	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2X(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2Y(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	外国語科目	メディア英語X(再履修)	○			○	◎	○			○		○	○	
共通科目	外国語科目	メディア英語Y(再履修)	○			○	◎	○			○		○	○	
共通科目	外国語科目	コミュニケーション英語X(再履修)	○			○	◎	○			○		○	○	
共通科目	外国語科目	コミュニケーション英語Y(再履修)	○			○	◎	○			○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語1A	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語1B	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語1C	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語1D	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語1E(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語2A	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語2B	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語2C	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語2D	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語2E(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語3A	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語3B	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語3C	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語3D(会話)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語3E(講読・再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語3F(会話・再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語1A	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語1B	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語1C	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語1D	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語1E(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語2A	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語2B	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語2C	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語2D	○			○	◎	○		○		○	○		
共通科目	外国語科目	初級フランス語2E(再履修)	○			○	◎	○		○		○	○		

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	外国語科目	初級フランス語3A	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級フランス語3B	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級フランス語3C(再履修)	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語1A	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語1B	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語1C	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語1D	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語1E(再履修)	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語2A	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語2B	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語2C	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語2D	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語2E(再履修)	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語3A	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語3B	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語3C	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	Advanced English1	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	Advanced English2	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	Advanced English3	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	Advanced English4	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	Advanced English5	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	日本語1	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	日本語2	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	外国語科目	日本語3	○			○	◎	○		○	○		○	○	
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ I A(卓球)	◎			○				○	○	○	◎	○	
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ I B(卓球)	◎			○				○	○	○	◎	○	
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ I H(運動処方)	◎			○				○	○	○	◎	○	
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ II A(バスケットボール)	◎			○				○	○	○	◎	○	
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ II B(バレーボール)	◎			○				○	○	○	◎	○	
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ II H(運動処方)	◎			○				○	○	○	◎	○	



学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー												備考
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)						○(一部当てはまる)						
共通科目	保健体育科目	健康スポーツⅢ(バレーボール)	◎			○				○	○	○	○	◎	○
共通科目	保健体育科目	健康スポーツⅣ(バドミントン)	◎			○				○	○	○	○	◎	○
共通科目	保健体育科目	健康スポーツⅤ(バスケットボール)	◎			○				○	○	○	○	◎	○
共通科目	保健体育科目	健康スポーツⅥ(多種目)	◎			○				○	○	○	○	◎	○
共通科目	保健体育科目	体育理論	◎			○				○	○	○	○	◎	○
専門科目	導入科目	法学の基礎A	○	◎		○				◎		○	○		○
専門科目	導入科目	法学の基礎B	○	◎		○				◎		○	○		○
専門科目	導入科目	法学の基礎C	○	◎		○				◎		○	○		○
専門科目	導入科目	コース入門		○		○					○	◎	◎		○
専門科目	「法の基礎」群	法哲学	○	◎		◎				○		○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	法思想史	○	◎		◎				○		○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	ヨーロッパの法と社会	○	◎		○	○	◎	○			○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	西洋法制史	○	◎		○	○	◎	○			○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	日本法制史	○	◎		○	○	○				○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	法社会学	○	◎		◎	○	○	○	○	○	○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	外国法1		◎		◎	○	○		○	○	○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	外国法2		◎		○	○	◎	○			○	○		○
専門科目	「法の基礎」群	専門英書講読1		◎		○	○	○				○			○
専門科目	「法の基礎」群	専門英書講読2		◎		○	○	○				○			○
専門科目	「法の基礎」群	専門独書講読1		◎		○	○	○				○			○
専門科目	「法の基礎」群	専門独書講読2		◎		○	○	○				○			○
専門科目	「法の基礎」群	専門仏書講読1		◎		○	○	○				○			○
専門科目	「法の基礎」群	専門仏書講読2		◎		○	○	○				○			○
専門科目	「公共と法」群	憲法1A		◎		○	○		◎			○	○		○
専門科目	「公共と法」群	憲法1B		◎		○	○		◎			○	○		○
専門科目	「公共と法」群	憲法2A		◎		○	○		◎			○	○		○
専門科目	「公共と法」群	憲法2B		◎		○	○		◎			○	○		○
専門科目	「公共と法」群	行政法総論1		◎		○			◎			○	○		○
専門科目	「公共と法」群	行政法総論2		◎	○	○			◎			○	○		○
専門科目	「公共と法」群	行政法各論1		◎	○	○			◎			○	○		○

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	「公共と法」群	行政法各論2		◎	○	○				◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	地方自治法		◎	○	○				◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	地方自治法2		○		○						○		○	
専門科目	「公共と法」群	地方自治政策論		◎	○	○				◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	税法1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	税法2		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	憲法(人権の保障)		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	憲法(統治の機構)		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	環境法		◎	○	○				◎	○	○		○	
専門科目	「公共と法」群	福祉の法と政策		◎	○	○				◎		○		○	
専門科目	「公共と法」群	教育と文化の法と政策		◎		○	○			◎		○	○	○	
専門科目	「公共と法」群	行政過程論		○		○						○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法総則1A		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法総則1B		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法総則2A		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法総則2B		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法物権法1		◎		○	○			◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法物権法2		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法債権総論1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法債権総論2		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法債権各論1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法債権各論2		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法家族法1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民法家族法2		◎		○				◎		○		○	
専門科目	「市民と社会」群	民法総合		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	裁判法		◎		◎	○			○		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	消費者法		○		○						○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民事訴訟法1		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民事訴訟法2		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	倒産法(理論と実務)		◎		◎				○		○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	「市民と社会」群	民事執行法		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	民事紛争解決制度		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	家族関係の法と政策		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「市民と社会」群	事故災害と法政策		○		○						○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑法総論1A		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑法総論1B		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑法総論2A		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑法総論2B		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑法各論1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑法各論2		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑法総合		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑事学		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑事訴訟法1		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑事訴訟法2		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	刑事特別法		○		○						○	○	○	
専門科目	「犯罪と刑罰」群	社会的安全の法政策		○		○						○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際法		◎		○	◎			○		○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際機構論		◎		◎	○	○	○	○		○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際関係論		◎		◎	○	○	○	○		○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際経済論		◎		○	◎	○				○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際関係史		◎		◎	○	○	○	○		○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際紛争の解決		◎		◎	○	○	○	○		○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際私法		○		○						○		○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際経済法		◎		◎	○	○	○	○		○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際人権法		◎		◎	○	○	○	○		○	○	○	
専門科目	「国際社会と法」群	国際取引法		○		○						○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	会社法1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	会社法2		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	商法総則・商行為1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	商法総則・商行為2		◎		○				◎		○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	「企業の組織と活動」群	有価証券取引法1		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	有価証券取引法2		◎		○				◎		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	労働法		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	社会保障法		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	保険法		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	海商法		◎		◎	○			○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	経済法		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	知的財産法(工業所有権法)		◎		◎	○			○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	知的財産法(著作権法)		◎		◎	○			○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	知的財産と法政策		○		○						○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	競争政策と法		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	労働の法と政策		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「企業の組織と活動」群	社会保障の法と政策		◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	政治思想史	○	◎		○	○			◎		○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	経済学	○	◎		○				○		○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	経営学	○	◎		◎				○		○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	財政学	○	◎		○						○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	行政学	○	◎	○	◎				○		○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	経済政策	○	◎		○	○					○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	共生社会論	○	◎		○	○	◎				○	○	○	
専門科目	「政治・経済と社会」群	社会集団論	○	◎	○	◎						○	○	○	
専門科目	「社会・公民科目」群	地理学	○	◎		○						○		○	
専門科目	「社会・公民科目」群	地誌学	○	◎		○						○		○	
専門科目	「社会・公民科目」群	日本史1	○	◎		○						○		○	
専門科目	「社会・公民科目」群	日本史2	○	◎		○						○		○	
専門科目	「社会・公民科目」群	外国史1	○	◎		○	○					○	○	○	
専門科目	「社会・公民科目」群	外国史2	○	◎		○	○					○	○	○	
専門科目	「社会・公民科目」群	哲学概論1	○	◎		○						○	○	○	
専門科目	「社会・公民科目」群	哲学概論2	○	◎		○						○	○	○	
専門科目	「社会・公民科目」群	倫理学概論1	○	◎		○						○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	「社会・公民科目」群	倫理学概論2	○	◎		○			○		○	○		○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目1		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目2		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目3		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目4		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目5		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目6		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目7		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「発展科目」群	発展科目8		◎		◎			○		○			○	
専門科目	「就職支援科目」群	法学部キャリア形成(発展1)	○	○		○			○	○	◎			○	
専門科目	「就職支援科目」群	法学部キャリア形成(発展2)	○	○		○			○	○	◎			○	
専門科目	「就職支援科目」群	法学部キャリア形成(発展3)	○	○		○			○	○	◎			○	
専門科目	「就職支援科目」群	法学部キャリア形成(発展4)	○	○		○			○	○	◎			○	
専門科目	「就職支援科目」群	法学部キャリア形成(発展5)	○	○		○			○	○	◎			○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(浅野 俊哉)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(出石 稔)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(大原 利夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(籠谷 和弘)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(川島 健治)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(志村 武)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(鈴木 恵)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(高瀬 幹雄)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(徳永 江利子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(鳥澤 円)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(原口 佳誠)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(藤田 潤一郎)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(本田 耕一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(本田 直志)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(松原 哲)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(松谷 秀祐)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(三原 園子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(宮本 弘典)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(武藤 達夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(村上 裕)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1(吉田 仁美)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(浅野 俊哉)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(出石 稔)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(大原 利夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(籠谷 和弘)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(川島 健治)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(志村 武)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(鈴木 恵)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(高瀬 幹雄)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(徳永 江利子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(鳥澤 円)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(原口 佳誠)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(藤田 潤一郎)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(本田 耕一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(本田 直志)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(松原 哲)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(松谷 秀祐)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(三原 園子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(宮本 弘典)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(武藤 達夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(村上 裕)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2(吉田 仁美)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(浅野 俊哉)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(出石 稔)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(大原 利夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(籠谷 和弘)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現		関心・意欲・態度					
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(川島 健治)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(小林 孝一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(志村 武)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(鈴木 恵)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(高瀬 幹雄)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(田中 綾一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(徳永 江利子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(鳥澤 円)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(原口 佳誠)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(藤田 潤一郎)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(本田 耕一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(本田 直志)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(松谷 秀祐)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(松原 哲)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(三原 園子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(宮本 弘典)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(武藤 達夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(村上 裕)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(山下 幸司)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3(吉田 仁美)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(浅野 俊哉)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(出石 稔)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(大原 利夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(籠谷 和弘)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(川島 健治)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(小林 孝一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(志村 武)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(鈴木 恵)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(高瀬 幹雄)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(田中 綾一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
法学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。 <知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(徳永 江利子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(鳥澤 円)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(原口 佳誠)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(藤田 潤一郎)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(本田 耕一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(本田 直志)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(松谷 秀祐)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(松原 哲)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(三原 園子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(宮本 弘典)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(武藤 達夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(村上 裕)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(山下 幸司)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4(吉田 仁美)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(浅野 俊哉)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(出石 稔)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(大原 利夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(籠谷 和弘)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(小林 孝一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(鈴木 恵)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(高瀬 幹雄)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(田中 綾一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(徳永 江利子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(鳥澤 円)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(原口 佳誠)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(藤田 潤一郎)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	



学位授与方針と各科目の関連(法学部法学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部法学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現		関心・意欲・態度					
法学部は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(本田 耕一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(本田 直志)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(松谷 秀祐)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(三原 園子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(宮本 弘典)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(武藤 達夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(村上 裕)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(山下 幸司)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5(吉田 仁美)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(浅野 俊哉)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(出石 稔)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(大原 利夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(籠谷 和弘)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(小林 孝一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(鈴木 恵)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(高瀬 幹雄)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(田中 綾一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(徳永 江利子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(鳥澤 円)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(原口 佳誠)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(藤田 潤一郎)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(本田 耕一)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(本田 直志)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(松谷 秀祐)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(三原 園子)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(宮本 弘典)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(武藤 達夫)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(村上 裕)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(山下 幸司)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール6(吉田 仁美)		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー												備考
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
<p>地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。</p> <p>&lt;知識・理解&gt;</p> <p>1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養)</p> <p>2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解)</p> <p>3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解)</p> <p>&lt;技能&gt;</p> <p>4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力)</p> <p>5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力)</p> <p>&lt;思考・判断・表現&gt;</p> <p>6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生)</p> <p>7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断)</p> <p>8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信)</p> <p>&lt;関心・意欲・態度&gt;</p> <p>9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲)</p> <p>10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性)</p> <p>11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働)</p> <p>12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)</p>			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)						○(一部当てはまる)						
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン入門A	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン入門B	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 I A	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 I B	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 I C	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 II	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 II	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン基礎 II	○			○			○	○	◎	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUキャリアデザイン応用 I	◎			○				○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(行政)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(経済)	○		◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(政治)	○		◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(スポーツ)	○		◎	○		○	○	○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(歴史・文化)	○		◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(自然)	○		◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(健康)	○		◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(地域づくり)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(地域安全)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○		
全学共通科目	共通科目	KGUかながわ学(コミュニティ)	○	○	◎	○		○		○	○	○	○		
共通科目	教養科目	哲学	◎			○		○	○	○			○		
共通科目	教養科目	倫理学	◎			○	○	○	○	○			○		
共通科目	教養科目	心理学(人と社会)	◎			○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	教養科目	心理学(認知と情動)	◎			○	○	○	○	○	○	○	○		
共通科目	教養科目	世界史(課題と方法)	◎			○	○	○	○				○		
共通科目	教養科目	世界史(テーマ研究)	◎			○	○	○	○				○		
共通科目	教養科目	日本史(課題と方法)	◎		○	○	○	○	○				○		
共通科目	教養科目	日本史(テーマ研究)	◎		○	○	○	○	○				○		
共通科目	教養科目	美術史(課題と方法)	◎			○	○	○	○				○		

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働能力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働能力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断・傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働		建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	教養科目	美術史(テーマ研究)	◎			○	○	○			○			○	
共通科目	教養科目	キリスト教学A	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
共通科目	教養科目	キリスト教学B	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
共通科目	教養科目	キリスト教学C	◎			○	○	○	○		○	○		◎	
共通科目	教養科目	キリスト教史(バプテスト史)A	◎			○	○	○			○			◎	
共通科目	教養科目	キリスト教史(バプテスト史)B	◎			○	○	○			○			◎	
共通科目	教養科目	生命倫理	◎			○	○	○	○	○	○			○	
共通科目	教養科目	比較宗教学	◎			○	○	○	○	○		○	○	○	
共通科目	教養科目	日本文学(近代文学史)	◎			○		○	○		○			○	
共通科目	教養科目	日本文学(現代文学史)	◎			○		○	○		○			○	
共通科目	教養科目	外国文学	◎			○	○	○			○	○		○	
共通科目	教養科目	文化人類学(民族誌)	◎		○	○	○	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	文化人類学(比較と理論)	◎		○	○	○	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	社会言語学	◎			○	○	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	社会学入門(現代社会の諸問題)	◎			○	○	○	○		○	○		○	
共通科目	教養科目	社会学入門(理論)	◎			○	○	○	○		○	○		○	
共通科目	教養科目	ジェンダー論	◎			○	○	○	○		○	○	○	○	
共通科目	教養科目	社会思想史(人間本性編)	◎			○	○	○	○		○	○	○	○	
共通科目	教養科目	社会思想史(市民社会編)	◎			○	○	○	○		○	○	○	○	
共通科目	教養科目	政治学入門	◎			○			○		○	○		○	
共通科目	教養科目	経済学入門	◎			○				○	○			○	
共通科目	教養科目	簿記原理	◎			○					○			○	
共通科目	教養科目	会計学	◎			○					○			○	
共通科目	教養科目	日本事情(文化・歴史)	◎			○		○			○			○	
共通科目	教養科目	日本事情(社会)	◎			○		○			○			○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)A	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)B	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)C	◎			○					○		○	○	
共通科目	教養科目	情報処理(基礎)D	◎			○					○		○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断・傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働		建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	教養科目	情報処理(応用)	◎			○				◎	○		○	○	
共通科目	教養科目	情報科学	◎			○				◎	○			○	
共通科目	教養科目	生命科学(基礎・普遍性)	◎			○			○		○			○	
共通科目	教養科目	生命科学(生物の多様性)	◎			○			○		○			○	
共通科目	教養科目	環境科学(概論)	◎			○			○		○		○	○	
共通科目	教養科目	環境科学(課題と評価)	◎			○			○		○		○	○	
共通科目	教養科目	実用英語	◎			○	◎	○		○	○			○	
共通科目	教養科目	教養ドイツ語	◎			○	◎	○		○	○			○	
共通科目	教養科目	教養フランス語	◎			○	◎	○		○	○			○	
共通科目	教養科目	教養中国語	◎			○	◎	○		○	○			○	
共通科目	教養科目	ハングル1	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	ハングル2	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(英語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(中国語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(ハングル)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(フランス語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	海外語学演習(ドイツ語)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(浅野 俊哉)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(熊澤 孝昭)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(徳永 江利子)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(原口 佳誠)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(牧瀬 稔)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	大学入門ゼミナール(村椿 真理)	◎			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	文章理解と自己表現A	○			○	○			◎	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	文章理解と自己表現B	○			○	○			◎	○	○	○	○	
共通科目	教養科目	数的処理1	◎			○					○			○	
共通科目	教養科目	数的処理2	◎			○					○			○	
共通科目	教養科目	法学部キャリア形成1	○			○				○	○	○		○	
共通科目	教養科目	法学部キャリア形成2	○			○				○	○	○		○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー												備考
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)						○(一部当てはまる)						
共通科目	教養科目	ボランティア活動1	○			○					○	○	○	◎	
共通科目	教養科目	ボランティア活動2	○			○					○	○	○	◎	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1A	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1B	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1C	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1D	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1E	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1F	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1G	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1H	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1J	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1K	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1L	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション1Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2A	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2B	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2C	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2D	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2E	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2F	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2G	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2H	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2J	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2K	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2L	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語コミュニケーション2Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	英語リーディング1A	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	外国語科目	英語リーディング1B	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1C	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1D	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1E	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1F	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1G	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1H	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1J	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1K	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1L	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング1Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2A	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2B	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2C	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2D	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2E	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2F	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2G	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2H	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2J	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2K	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2L	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	英語リーディング2Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1A	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1B	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1C	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1D	○			○	◎	○		○	○	○	○		

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー												備考
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断・傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機		
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)						○(一部当てはまる)						
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1E	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1F	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1G	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1H	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1J	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1K	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1L	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ1Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2A	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2B	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2C	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2D	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2E	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2F	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2G	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2H	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2J	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2K	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2L	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2X(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	TOEICスキルズ2Y(再履修)	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語1	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語2	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	初級ドイツ語3	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	初級フランス語1	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	初級フランス語2	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	初級フランス語3	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	
共通科目	外国語科目	初級中国語1	○			○	◎	○		○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
共通科目	外国語科目	初級中国語2	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	初級中国語3	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	Advanced English 1	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	Advanced English2	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	Advanced English3	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	Advanced English4	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	Advanced English5	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	日本語1	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	日本語2	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	外国語科目	日本語3	○			○	◎	○		○	○	○	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ I A(卓球)	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ I B(卓球)	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ I H(運動処方)	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ II A(バスケットボール)	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ II B(バレーボール)	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ II H(運動処方)	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ III	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ IV	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ V	◎			○			○	○	○	◎	○		
共通科目	保健体育科目	健康スポーツ VI	◎			○			○	○	○	◎	○		
専門科目	学部基幹科目群	法学の基礎A	○	◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	法学の基礎B	○	◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	憲法1A		◎		○	○		◎		○	○		○	
専門科目	学部基幹科目群	憲法1B		◎		○	○		◎		○	○		○	
専門科目	学部基幹科目群	憲法2A		◎		○	○		◎		○	○		○	
専門科目	学部基幹科目群	憲法2B		◎		○	○		◎		○	○		○	
専門科目	学部基幹科目群	民法総則1A		◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	民法総則1B		◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	民法総則2A		◎		○			◎		○			○	



学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断・傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働		建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	学部基幹科目群	民法総則2B		◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	刑法総論1A		◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	刑法総論1B		◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	刑法総論2A		◎		○			◎		○			○	
専門科目	学部基幹科目群	刑法総論2B		◎		○			◎		○			○	
専門科目	地域創生基礎科目群	地域創生概論		◎	◎	○		○	○		○	○	○	○	
専門科目	地域創生基礎科目群	行政法総論1		◎		○			◎		○	○		○	
専門科目	地域創生基礎科目群	行政法総論2		◎		○			◎		○	○		○	
専門科目	地域創生基礎科目群	地方自治法		◎		○		○	◎		○	○		○	
専門科目	地域創生基礎科目群	行政学		◎		◎		○	○		○	○		○	
専門科目	地域創生基礎科目群	地方財政論		◎		○			○		○			○	
専門科目	地域創生基礎科目群	地域政策論		◎		◎		○	○		○		○	○	
専門科目	地域創生基礎科目群	共生社会論		◎		○		◎	○		○	○	○	○	
専門科目	地域創生基礎科目群	地域社会論		◎		○		○	○		○			○	
専門科目	地域創生基礎科目群	社会保障論		◎		○			○		○			○	
専門科目	地域創生基礎科目群	家族関係と家族法		◎		○			○		○		○	○	
専門科目	地域創生基礎科目群	ボランティア論		◎	○	○		○		○	○	◎	○	○	
専門科目	地域創生基礎科目群	地域創生とICT		◎	○	○		◎		○	○	○	○	○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域協働論		◎	○	○		○	○	○	○	○		○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域の健康福祉		◎	○	○		○	○	○	○			○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域のまちづくり		◎	○	○		○	○	○	○	○		○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域環境政策論		◎	○	○		○	○	○	○	○	○	○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域の教育・文化		◎	○	○		◎	○	○	○			○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域の産業・観光振興		◎	○	○		○	○	◎	○	○		○	
専門科目	地域デザイン科目群	ソーシャルビジネス論		◎	○	○			○	○	○	○		○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域リーダー育成演習1		◎	○	◎			○	○	○	○	○	○	
専門科目	地域デザイン科目群	地域リーダー育成演習2		◎	○	◎			○	○	○	○	○	○	
専門科目	地域安全科目群	防災・復興論		◎	○	○			○	○	○	○	○	○	
専門科目	地域安全科目群	震災に学ぶ		◎	○	◎			○	○	○	○	○	○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断・傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働		建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	地域安全科目群	セーフコミュニティ論		◎	○	○			○	○	○	○		○	
専門科目	地域安全科目群	警察の理論と実践		◎	○	◎			○	○	○	○	○	○	
専門科目	地域安全科目群	消防の理論と実践		◎	○	◎			○	○	○	○	○	○	
専門科目	地域安全科目群	権利擁護と成年後見制度		◎		○			○	○	○	○	○	○	
専門科目	地域安全科目群	海上安全の理論と実践		◎	○	◎			○	○	○	○		○	
専門科目	地域安全科目群	防災・復興演習1		◎	○	◎			○	○	○	◎	○	○	
専門科目	地域安全科目群	防災・復興演習2		◎	○	◎			○	○	○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(神奈川)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(横浜)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(川崎)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(相模原)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(横須賀)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(鎌倉)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(逗子)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(三浦)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(葉山)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(茅ヶ崎)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(小田原)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(岩手)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(沖縄)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	地域創生特論科目群	地域創生特論(岩手)		○	◎	◎			○		○	◎	○	○	
専門科目	法律科目群	憲法(人権の保障)		◎		○			◎		○	○		○	
専門科目	法律科目群	憲法(統治の機構)		◎		○			◎		○	○		○	
専門科目	法律科目群	行政法各論1		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	行政法各論2		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	民法物権法1		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	民法債権各論1		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	民法債権各論2		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	民法家族法1		◎		○			◎		○			○	

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断・傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働		建学の精神の実践、奉仕動機	
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	法律科目群	民法家族法2		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	民事訴訟法1		◎		◎			○		○			○	
専門科目	法律科目群	民事訴訟法2		◎		◎			○		○			○	
専門科目	法律科目群	刑法各論1		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	刑法各論2		◎		○			◎		○			○	
専門科目	法律科目群	刑事訴訟法1		◎		◎			○		○			○	
専門科目	法律科目群	刑事訴訟法2		◎		◎			○		○			○	
専門科目	法律科目群	環境法		◎		○			◎	○	○			○	
専門科目	法律科目群	社会保障法		◎		◎			○		○			○	
専門科目	法律科目群	労働法		◎		◎			○		○			○	
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	浅野 俊哉
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	出石 稔
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	大原 利夫
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	籠谷 和弘
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	志村 武
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	徳永 江利子
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	原口 佳誠
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	牧瀬 稔
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	相川 忠夫
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	今村 哲也
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	木村 乃
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール1		◎		◎			○	◎	○		○	○	津軽石昭彦
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	浅野 俊哉
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	出石 稔
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	大原 利夫
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	籠谷 和弘
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	志村 武
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	徳永 江利子
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	原口 佳誠

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー										備考		
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		11	12
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働能力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働能力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断	傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性		チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)					○(一部当てはまる)							
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	牧瀬 稔
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	相川 忠夫
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	今村 哲也
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	木村 乃
専門科目	ゼミナール	プレゼミナール2		◎		◎			○	◎	○		○	○	津軽石昭彦
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	浅野 俊哉
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	出石 稔
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	大原 利夫
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	籠谷 和弘
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	志村 武
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	徳永 江利子
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	原口 佳誠
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	牧瀬 稔
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	相川 忠夫
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	今村 哲也
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	木村 乃
専門科目	ゼミナール	ゼミナール1		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	津軽石昭彦
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	浅野 俊哉
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	出石 稔
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	大原 利夫
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	籠谷 和弘
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	志村 武
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	徳永 江利子
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	原口 佳誠
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	牧瀬 稔
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	相川 忠夫
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	今村 哲也
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	木村 乃
専門科目	ゼミナール	ゼミナール2		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	津軽石昭彦

学位授与方針と各科目の関連(法学部地域創生学科)			ディプロマ・ポリシー												備考
【法学部地域創生学科ディプロマ・ポリシー】			知識・理解			技能		思考・判断・表現			関心・意欲・態度				
地域創生学科は、キリスト教に基づく建学の精神と校訓「人になれ 奉仕せよ」のもと、次に掲げる能力を備えるべく、履修規程に定める所定の単位を修得し、所定の年限在学した学生に学位を授与します。			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
<知識・理解> 1. 自己理解と他者理解につながる幅広い教養を身につけている。(幅広い教養) 2. 法学と地域創生に関する基本的な専門知識及び技術を修得している。(専門分野に関する知識・理解) 3. 本学が立地する「神奈川」の歴史・文化・風土等の特性を理解している。(地域に関する知識・理解) <技能> 4. 社会で生起する問題について、地域創生の視点から法的に検討することができる。(問題発見・思考力) 5. グローバル化が進む現代社会において協働できるコミュニケーション力を有している。(グローバルな協働能力) <思考・判断・表現> 6. 他者の社会的・文化的背景を理解できる。(多文化での共生) 7. 倫理観と公平・公正の精神をもって、事象を法的に考察することができる。(倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断) 8. 他者の意見に耳を傾けるとともに、自らの意見を適切な表現手段を用いて発信することができる。(傾聴と発信) <関心・意欲・態度> 9. 生涯にわたり、進んで知識・教養・技能を高めようとする意欲を有している。(生涯学び続ける意欲) 10. 社会・地域・組織の一員としての役割を果たそうとする主体性を持っている。(社会参加への主体性) 11. 法的な知識と視点のもとに、様々な背景をもった他者を尊重して協働できる。(チームワーク、他者との協働) 12. 問題に対して誠実に向き合おうとする実践的態度を身につけている。(建学の精神の実践、奉仕動機)			幅広い教養	専門分野に関する知識・理解	地域に関する知識・理解	問題発見・思考力	グローバルな協働能力	多文化での共生	倫理観、法的思考に基づく公平・公正な判断・傾聴と発信	生涯学び続ける意欲	社会参加への主体性	チームワーク、他者との協働	建学の精神の実践、奉仕動機		
科目区分	分野	時間割名	◎(当てはまる)						○(一部当てはまる)						
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	浅野 俊哉
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	出石 稔
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	大原 利夫
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	籠谷 和弘
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	志村 武
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	徳永 江利子
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	原口 佳誠
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	牧瀬 稔
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	相川 忠夫
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	今村 哲也
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	木村 乃
専門科目	ゼミナール	ゼミナール3		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	津軽石昭彦
専門科目	ゼミナール	ゼミナール4		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	ゼミナール5		◎		◎	○		◎	◎	○	○	○	○	
専門科目	ゼミナール	卒業論文(論文指導)		◎		◎			○	○	○			○	
共通科目	教養科目	キリスト教学A	◎			○	○	○	○		○	○		◎	過去
共通科目	教養科目	キリスト教学B	◎			○	○	○	○		○	○		◎	過去
共通科目	教養科目	キリスト教学C	◎			○	○	○	○		○	○		◎	過去